

平成23年度 兵庫県立姫路別所高等学校 学校評価報告書

1 教育方針と本年度の重点目標

教育方針	校訓「友愛、責任、自立」、スローガン「Realize Your Dream」のもと、学校・家庭・地域が一体となった取り組みや体験活動を通して、豊かな心を育むとともに、確かな学力や主体的に生きる力を培い、知・徳・体の調和のとれた人間を育成する。
------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> きめ細かな丁寧な指導により生徒の夢を実現させる教育を推進する。 基礎・基本の定着を図り、「わかる授業」づくりに努める。 保護者・地域との連携を深め、信頼される学校づくりを推進する。 分教室との交流及び共同学習を推進し、「共生の心」を育む。
------	--

3 学校評価の実施方法についての学校関係者評価

<p>・おおむね良好。</p>

4 総合的な学校関係者評価

<p>・支援の観点からのきめ細かな指導がなされている。今後も社会及び家庭の教育環境の変化にともなう生徒の変成に対応した教育活動の継続を期待する。</p>
--

2 学校自己評価結果（★前年度より改善された項目 ★次年度に向けた課題）

分野	評価項目（来年度の課題となる項目を中心に）	評価
生徒指導	★明確な生徒指導基準の設定及び生徒・保護者・教職員間でその共有・実践を図る。	B
	★ルール（服装・頭髪）・マナー（通学マナー）を遵守させ、規範意識を育てる。	
	★キャンパスカウンセラーによる研修を実施する。また、生徒・保護者に対して、心の教育を充実させる。	
	外部講師の活用等を通じ、薬物乱用防止や情報モラル啓発などの今日的課題に対応した指導を行う。	
	★規則正しい生活のリズムを整えさせ、心身ともに健康な生活を送ることができる習慣を培う。	
	★全校集会等において、プロジェクターなどを効果的活用し、生徒にとって「わかりやすい指導」を行う。	
	生徒指導部と学年団が協力し、効果的な事前指導及び事後指導を行う。	
進路指導	進路指導部と学年が連携し、進学・就職に関する有効な情報を共有し、生徒・保護者に提供する。	B
	★ホームルームや総合的な学習の時間を利用して、主体的に進路選択ができる能力を育成する。	
	★外部講師による進路講演会の活用やオープンキャンパス等への参加を促し、進路意識を高める。	
	進路実現に向けて、補習授業や模擬試験、面接練習などを効果的に実施する。	
学習指導	★教員が研究授業や授業アンケート等を活用して、指導力の向上を図り、「わかる授業」づくりに努める。	B
	少人数授業や習熟度別授業、補習や補充などを実施して基礎学力の定着を図る。	
	ボランティア実践やふれあい育児体験など、本校の特色を生かした体験的な学習の充実を図る。	
	漢字検定や英語検定、情報処理検定等の資格取得を目指し、学び続ける意欲と態度を育成する。	
	芸術鑑賞会など芸術文化に関する行事を開催し、感性豊かな心を育成する。	
学校運営全般	★進路・生徒指導・人権など学校の諸課題に関する教員の研修会を実施し、指導力の向上を図る。	B
	他校への学校訪問で得た有効な情報を研修会で共有し、教員の資質及び指導力の向上を図る。	
	危機管理マニュアルを作成し、実践的に対応できるように訓練など防災・安全教育の充実を図る。	
	専門部のリーダーシップの発揮とともに、各部や各学年の連携による協働体制を構築する。	
	役割分担の明確化、適正な人員配置など機能的に組織化し、学校の活性化を図る。	
保護者・地域との連携	PTA総会、学校ホームページ、学年通信などを通じて、学校の情報を積極的に保護者に発信する。	A
	授業公開、オープンハイスクール、中学校訪問などを通じて地域に開かれた学校づくりを推進する。	
	学校評議員会の意見や学校関係者評価を受け、それを公表し学校運営の改善を図る。	

評価（Aよくできた Bできた Cあまりできなかった Dできなかった）

学校の取り組み状況・改善の方策
<p>イエローカード指導の全学年実施の準備を完了し、3ヶ年計画の最終段階「一枚岩の指導体制」の実現への歩みを着実に進めた。</p> <p>イエローカード指導及び段階的指導を含む登下校指導体制の安定化とともに、着こなし・通学マナーは向上した。また、PTAとのJR乗車指導も一定の評価を得た。</p> <p>PTAの支援により、カウンセリング機会の充実をはじめとした支援隊体制の向上が図れた。今後は、教員とカウンセラーの効果的かつ適切な連携の方策を模索していく。</p> <p>課題別の学年別小規模指導やLHRを利用した時宜に応じた柔軟かつ効果的な指導等、3ヶ年を見通した指導体制の構築を目指す。</p> <p>効果的な遅刻指導体制を構築し、適正に運用することを目指す。</p> <p>校則の変更点、交通マナーに関するデータ、そして通学の様子などを図や映像を用いてわかりやすく説明し、指導の説得力を高めることができた。</p> <p>特別指導をはじめとした別室指導が形式的なものにならないよう、これまでの取り組みを検証し、改善を加えていく。また、分教室と連携し、体験型の指導の充実を図る。</p>
<p>進路指導部会の定例化等の工夫により、過年度や他学年の取り組みの共有化を図り、3ヶ年を見通した安定した指導を実現する。学力向上プロジェクトチームの動きに期待が集まる。</p> <p>従来型の総合学習は一定の効果を上げているが、先進事例校研究等での情報収集等、具体的な「次の一手」を見出していく必要がある。</p> <p>進路学習会を通して効果的に進路意識の高揚を図れたが、さらなる工夫が必要である。</p> <p>学年主導から進路指導部主導の組織的な指導への移行が求められる。</p>
<p>授業力向上プロジェクト立ち上げ等の具体的な行動計画の企画立案・実施が求められる。</p> <p>少人数指導や習熟度別指導のあり方の研究・研修を推進する。</p> <p>分教室や地域との連携を筆頭に、体験的な学習機会の拡充に向けた協力体制が構築されつつある。</p> <p>放課後の対策講座などの具体的な枠組みづくりが必要。生徒へのPRも不十分である。</p> <p>内容の吟味、検討が必要。</p>
<p>教務部及び進路指導部による適回数回の部会実施が求められる。研修機会の計画的設定が必要。</p> <p>職員会議での初任研報告は評価できる。外部からの情報の共有化や実践的なフィードバックをより積極的に行っていくことが求められる。</p> <p>危機管理における役割分担の共通理解が十分に図れているとはいえない。校内組織や役割分担のさらなる明確化に加え、共通理解の促進が求められる。</p> <p>生徒指導部以外の専門部のリーダーシップ発揮が待たれる。専門部による新規アイデアの提案等、専門部の活性化が求められる。</p> <p>各部ともに入れ替わりが目立ち、機能的になりきれていないと思われる。学校評価システムを活用し、成果の継承発展と課題の改善を図る。</p>
<p>HP、携帯メール連絡網や学校通信、その他様々な形で情報が発信できている。今後は、HPの更新頻度等の面での向上が求められる。</p> <p>体験授業を据えたたオープン・ハイスクール、タイムリーかつ訪問目的を明確にした中学校訪問に加え、新規の学校説明会で本校の特色の認知度を上げることができた。</p> <p>指摘された課題を共有し、個人的・組織的に解決に向けた目標を設定する上で、評議員会で出された評価や提案の共有を図る仕組みが求められる。</p>

5 評価項目ごとの学校関係者評価

学校自己評価の結果及び改善の方策についての評価
<p>・指導の成果が、生徒の服装に加え、通学マナーを含めた行動全般にあらわれてきている。継続的な指導を望む。</p> <p>・中学校との情報共有等による在籍生徒の特性把握など、個に応じたきめ細かな生徒指導及び生徒支援ができています。</p>
<p>・進学対策、就職対策ともに充実させていこうという姿勢が見受けられる。</p> <p>・社会人として最低限持ち合わせておくべき作法、マナー、そしてエチケットなどの指導もお願いしたい。</p>
<p>・自主的、自立的に学ぶという姿勢を育む具体的な教育活動が行われることを望む。</p>
<p>・学校において起こる可能性のある様々な事故への予防対策をしっかりと講じていくことを望む。</p>
<p>・学校を訪れることがない地域住民にとって、「夢通信」は学校理解のため効果を発揮している。今後も継続してほしい。</p>